

2021年度学内共同研究採択一覧

種目	代表者	分担者	応募資格	研究課題	配分額 (千円)
B	吉原 利典		助教	温熱負荷による骨格筋適応メカニズムの解明	500
B	佐々木 啓		准教授	エピネフリン暴露が日和見病原菌の細胞傷害性に及ぼす影響	500
		松本 綾子	特任助教		
B	中村 恭子		先任准教授	精神科リハビリテーションにおける歩行動作改善のための運動プログラムの検討	500
		鈴木 宏哉	先任准教授		
B	染谷 由希		助教	スポーツ心臓と指摘された学生アスリートの特徴とその後の生活に関する疫学調査	500
		深尾 宏祐	准教授		
		福 典之	先任准教授		
		宮本 恵里	助教		
B	川田裕次郎		助教	アスリートにおける「ハイパフォーマンスブレイン」の解明を目指す研究基盤の創出	500
		桐野 衛二	静岡病院		
		柴田 展人	教授		
		広沢 正孝	客員教授		
B	黒坂 裕香		助手	スポーツ現場における潜在的栄養不良者の実態調査とスクリーニング方法の構築	500
		涌井佐和子	先任准教授		
		田中 智美	城西国際大学		
		黒澤 駒里	博士前期課程1年		
		神庭 陸実	博士後期課程2年		
B	高澤 祐治		教授	スポーツ外傷・障害後の筋伸張性収縮機能と姿勢制御能力の関係性解明	500
		西尾 啓史	助教		
		野津将時郎	博士研究員		
		田中 吏	博士後期課程3年		
		井上 美佳	博士後期課程2年		
B	久保原 禅		教授	マラリア治療薬開発のための基盤研究	500
		松本 綾子	特任助教		
		平井 誠	医学部		
		菊地 晴久	慶應大学		
C	大田 穂		特任助教	ソフトボールにおける球質の違いが打撃結果に及ぼす影響	498
C	山口 慎史		特任助教	大学生における傷つきやすさと自尊感情が希死念慮に及ぼす影響	500
		室伏 由佳	講師		
		松田晃二郎	熊本学園大学		
		黄田 常嘉	教授		
C	杉山 和也		特任助教	現行の和泉流狂言の詞章と所作に関する研究	500
		中村 恭子	先任准教授		
C	佐藤 皓也		助教	スポーツとしての武道の志向：旧制第一高等学校剣道部の思想と実践	500
D	川久保沙紀		博士後期課程2年	アミノ酸量を考慮した新たな栄養指導が維持期心臓リハビリテーション患者の運動療法やメンタル面への効果を高めるか	150
		内藤 久士	教授		
		深尾 宏祐	准教授		
		横山 美帆	医学部		
		西村 潤也	博士前期課程2年		
		本沢 晶雄	順天堂医院健康スポーツ室		

種目	代表者	分担者	応募資格	研究課題	配分額 (千円)
D	中村 美幸		博士後期課程 3 年	情動記憶の忘却機能を標的とした一過性運動の効果検証	150
		柴田 展人	教授		
		黄田 常嘉	教授		
		石田 泰之	博士前期課程 2 年		
		寺下 博貴	博士前期課程 2 年		
D	程 科穎		博士後期課程 2 年	多血小板血漿が低強度運動トレーニングによる高齢モデルマウス骨格筋の適応に及ぼす影響	150
		吉原 利典	助教		
		洪 永豊	博士研究員		
		内藤 久士	教授		
D	野栗 立成		博士後期課程 3 年	大学生アスリートにおける組織内自尊感情が抑うつ症状に及ぼす影響	150
		柴田 展人	教授		
		山口 慎史	特任助教		
		黄田 常嘉	教授		
D	石川 敦士		博士後期課程 3 年	軽度知的障害者の運動有能感、体力・運動能力と卒業後の運動継続意志との関連	150
		川田裕次郎	助教		
		渡邊 貴裕	先任准教授		
		内藤 久士	教授		
D	秦 啓一郎		博士後期課程 2 年	カーボンプレート内蔵厚底マラソンシューズが足関節底屈筋の筋活動に与える影響	150
		柳谷登志雄	先任准教授		
		長門 俊介	特任助教		
		仲村 明	准教授		
		野呂 啓晃	博士後期課程 3 年		
		竹下 知成	博士後期課程 3 年		
D	田中 吏		博士後期課程 3 年	血流制限トレーニングにおける血流制限を行うタイミングの違いが筋機能に及ぼす影響	150
		高澤 祐治	教授		
D	井上 美佳		博士後期課程 2 年	筋の状態を評価する客観的指標の確立	150
		高澤 祐治	教授		
		窪田 敦之	准教授		
D	大塚 篤也		博士後期課程 1 年	振動刺激ストレッチがリカバリー効果に及ぼす影響	150
		内藤 久士	教授		
		深尾 宏祐	准教授		
		西村 潤也	博士前期課程 2 年		
		松永 美咲	博士前期課程 2 年		
		平山 香奈	博士前期課程 1 年		
D	村井梨沙子		博士後期課程 2 年	協同学習モデル「PACER」を用いた体育授業の有効性に関する検討—小学校中学年のマット運動を対象として—	150
		荻原 朋子	准教授		
		高梨 崇洋	特別研究員		
D	長津 恒輝		博士後期課程 3 年	無酸素性パフォーマンス向上を目的とした一過性高地トレーニングにおける標高の検討	150
		内藤 久士	教授		
		辻川比呂斗	保健看護学部		
		杉山 康司	静岡大学		